



C H U B U P R O J E C T

4 |

治水・利水

利賀ダム建設事業

問い合わせ先

国土交通省北陸地方整備局 河川計画課
〒950-8801 新潟県新潟市中央区美咲町 1-1-1
TEL.025-280-8958

プロジェクトホームページ

<http://www.hrr.mlit.go.jp/toga/>

所在地

富山県南砺市

事業主体

国土交通省

進捗状況

検証中

完成目標・時期

2022年度（基本計画）

事業費

約1,150億円（基本計画）

● 事業の背景・目的

①洪水調整

ダム地点の計画高水流量 770m³/s のうち 500m³/s の洪水調整を行い、ダム地点下流の水害を防除し、地域の安全の確保並びに発展に寄与する。

②流水の正常な機能の維持

庄川本川および支川利賀川の既得用水の補給を行う等、流水の正常な機能の維持と増進を図り、地域の発展に寄与する。

③工業用水

富山県に対し、庄地先において、工業用水として新たに1日最大8,640m³/日（0.1m³/s）の取水を可能にし、地域の産業の向上並びに発展に寄与する。

● 計画の概要

・重力式コンクリートダム	堤高	112.0 m
	堤頂長	232.0 m
	集水面積	95.9 km ²
	湛水面積	1.1 km ²
	総貯水量	31,100 千 m ³



田園と散居の郷に安心と水土里の環 庄川さがん

国営総合農地防災事業 庄川左岸地区

問い合わせ先

庄川左岸農地防災事業所
〒939-1386 富山県砺波市幸町 8-20
TEL.0763-32-1210

プロジェクトホームページ

<http://www.maff.go.jp/hokuriku/kokuei/syogawa/jigyo.html>

■所在地

富山県高岡市、砺波市、小矢部市、南砺市

■事業主体

農林水産省 北陸農政局 庄川左岸農地防災事業所

■進捗状況

事業実施中

■完成目標・時期

平成 29 年度

■事業費・事業規模

27,000 百万円
受益面積 6,212ha

● 事業の経緯

H13.11.7 庄川左岸地区用排水対策促進協議会の設立
H14～H18 国営土地改良事業地区調査
H19～H20 全体実施設計
H21.3.11 事業施行申請
H21.7.29 事業計画確定

● 今後の展望・課題

農地のみならず周辺の宅地や公共施設を守っている公共性と公益性を踏まえ、行政（市）が中心となり土地改良区と連携した広域的な地域排水の実施が必要となっており、複数市を跨いだ総合的かつ一元的な高度な排水管理が不可欠。

● 事業の背景・目的

本地区の農業用排水施設は、主として昭和 28 年から昭和 40 年代にかけて実施された県営かんがい排水事業等により造成整備されたが、近年の流域開発により洪水の流出形態が変化し、排水機能が低下したため、しばしば農地及び農業用施設に多大な被害が発生している。

このため、本事業により地区内の排水施設の機能を回復し、農地への溢水、湛水を防止することにより農業生産の維持・向上及び農業経営の安定を図り、併せて国土の保全に資するものである。

● プロジェクトの特徴・効果

本事業及び関連事業の実施により、排水機能が回復されることによって、農業生産の維持・向上等が可能となる。

● 計画の概要

富山県西部の庄川左岸地域に広がる 6,212ha の水田を主体とした農業地帯において、近年の流域開発による洪水の流出形態の変化に起因し低下した排水機能の回復を図るため、排水路延長 18.6km の新設及び改修を行うもの。

● 計画概要

附帯県営事業

安心して暮らせる社会の実現と、「ふるさと」を後にする
方々に応えるため、早期のダム完成を目指します

足羽川ダム建設事業

問い合わせ先

足羽川ダム工事事務所調査設計課
〒918-9239 福井市成和 1-2111
TEL.0776-27-0642

プロジェクトホームページ

<http://www.kkr.mlit.go.jp/asuwa/>

■所在地

福井県今立郡池田町

■事業主体

国土交通省近畿地方整備局足羽川ダム工事事務所

■進捗状況

事業実施中

■完成目標・時期

平成38年度完成予定

■事業費

約960億円

●事業の背景・目的

足羽川ダムは、足羽川、日野川（ひのがわ）、九頭竜川（くずりゅうがわ）下流域における洪水被害の軽減を目的としています。

●プロジェクトの特徴・効果

九頭竜川水系足羽川の支川部子川（へこがわ）に洪水調節専用のダムと併せて、他流域の4河川（水海川（みずうみがわ）、足羽川、割谷川（わりたにがわ）、赤谷川（あかたにがわ））の洪水を導水するための分水施設（堰・導水路）を整備するものです。

●計画の概要

足羽川ダム：重力式コンクリートダム、ダム高約96m、堤頂長約460m、総貯留量約28,700千m³
分水施設：水海川分水堰、水海川導水トンネル

●事業の経緯

昭和58年度 実施計画調査着手
平成6年度 建設事業着手
平成18年2月 九頭竜川水系河川整備基本方針策定
平成19年2月 九頭竜川水系河川設備計画策定
平成25年3月 損失補償基準の妥結
平成26年3月 付替道路（県道松ヶ谷宝慶寺大野線）工事着手

●今後の展望・課題

平成38年度の事業完成を目指す

三峰川総合開発事業 (美和ダム再開発事業)

問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局 河川計画課
〒460-8514 愛知県名古屋市中区三の丸 2-5-1
TEL.052-953-8148

プロジェクトホームページ

<http://www.cbr.mlit.go.jp/mibuso/index.htm>

■所在地	長野県伊那市
■事業主体	国土交通省
■進捗状況	事業中
■完成目標・時期	2018年度(平成30年度)予定
■事業費	約500億円

● 事業の背景・目的

- ・ 既設美和ダムの洪水調節機能の増強を図り、天竜川上流部の洪水氾濫から人々の暮らしを守る。
- ・ 美和ダム貯水池への堆砂を抑制し、ダム機能の保全を図る。

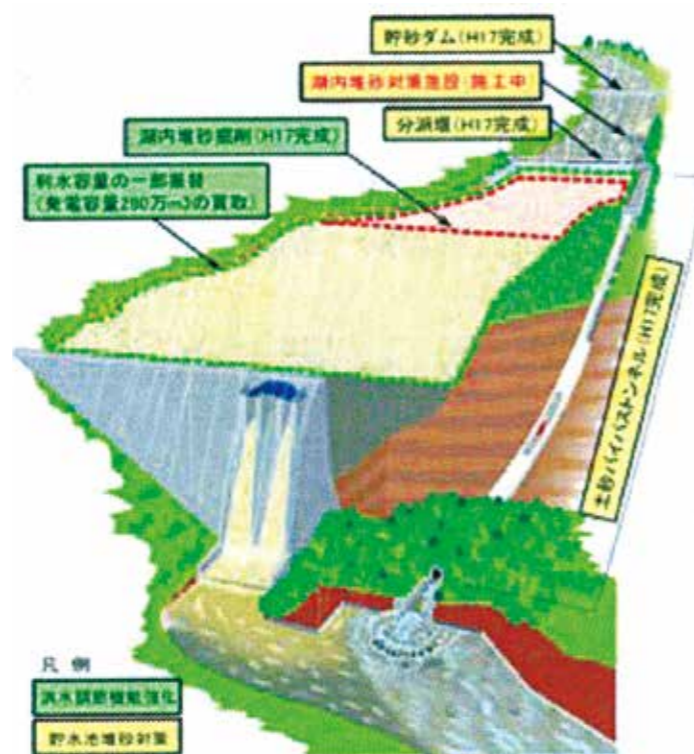
● 計画の概要

①洪水調節

戦後最大規模の洪水に対して、基準地点天竜峡において、約200m³/sの流量を低減(水位低下量約0.4m)させる。

②貯水池堆砂対策

土砂バイパス施設を整備し、貯水池への土砂流入を抑制するとともに、ダム地点における土砂移動の連続性を確保する。湖内堆砂対策施設の整備を行い、貯水池への堆砂を抑制するとともに、ダム地点における土砂移動の連続性を強化する。



新丸山ダム建設事業

所在地	岐阜県加茂郡八百津町、 岐阜県可児郡御高町
事業主体	国土交通省
進捗状況	事業中
完成目標・時期	2029年度（基本計画）
事業費	約2,000億円（基本計画）

問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局 河川計画課
〒460-8514 愛知県名古屋市中区三の丸 2-5-1
TEL.052-953-8148

プロジェクトホームページ

<http://www.cbr.mlit.go.jp/shinmaru/index.html>

● 事業の背景・目的

- ①洪水調節
新丸山ダム下流流域を水害から守るため、ダム地点における計画高水流量、7,100m³/sのうち2,500m³/sを調節する。
- ②既得取水の安定化および河川環境の保全等のための流水の確保
渇水の時、既得取水の安定化と、河川環境を守るために必要な水を下流に放流する。
- ③発電
関西電力株式会社の既設発電所において、22,500kWの出力増加を行い、最大出力210,500kWの発電を行う。

● 計画の概要

- ・木曾川本流中流部に位置する既設丸山ダムを有効に活用し、洪水調節能力などをさらに高めるため20.2mかさ上げする。
- ・重力式コンクリートダム
堤高118.4m（基本計画）
湛水面積3.68km²（基本計画）
総貯水容量131,350千m³（基本計画）

新丸山ダム完成予想図



リフレッシュ濃尾用水

国営総合農地防災事業 新濃尾地区

問い合わせ先

東海農政局 農村振興部防災課
〒460-8516 愛知県名古屋市中区三の丸1-2-2
TEL.052-223-4640

プロジェクトホームページ

<http://www.maff.go.jp/tokai/seibi/kensetu/sinnoubi/index.html>
http://www.maff.go.jp/tokai/seibi/kensetu/sinnoubi/pages/11shinnoubi_toha/00.html

● 事業の背景・目的

本事業は、自然的、社会的状況の変化などに起因して、農業用排水施設の機能が低下し、これにより災害の恐れが広域的に生じている地域及び水質の悪化により農作物の生育不良等が発生している地域において、その機能を回復し、災害を未然に防止すること及び被害を防止することにより、農業生産の維持及び農業経営の安定を図り、併せて国土の保全に資することを目的とする。

● プロジェクトの特徴・効果

濃尾平野の中心に位置し、昭和30年代に整備した農業用施設が、木曾川の河床低下や都市化の進行により機能が低下し、災害の恐れや水質の悪化による農作物生育不良等が生じている。さらに、流域内の土地利用の変化に伴い、排水量が増加したため、排水流下能力が不足している。これらの低下した機能の回復を図り、災害を未然に防止し、農業生産を維持するため、頭首工および排水路の改修を行う。

● 計画の概要

犬山頭首工 改修工事 1式
用水路改修 L = 32.0km
木津用水路 L = 3.9km
羽島用水路 L = 18.3km
宮田導水路 L = 9.8km
排水路改修 L = 27.3km
大江排水路 L = 16.7km
新木津用水路 L = 10.6km

■所在地

岐阜県岐阜市、羽島市、各務原市、岐南町、笠松町
愛知県名古屋市、一宮市、春日井市、津島市、犬山市、江南市、小牧市、稲沢市、岩倉市、愛西市、清須市、北名古屋市、あま市、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町

■事業主体

農林水産省東海農政局

■進捗状況

事業実施中

■完成目標・時期

2022年度

■事業費・事業規模

770億円
(うち1期工事394億円、2期工事376億円)
10,139ha

● 事業の経緯

国営かんがい排水事業 濃尾用水地区 昭和32年度～昭和42年度

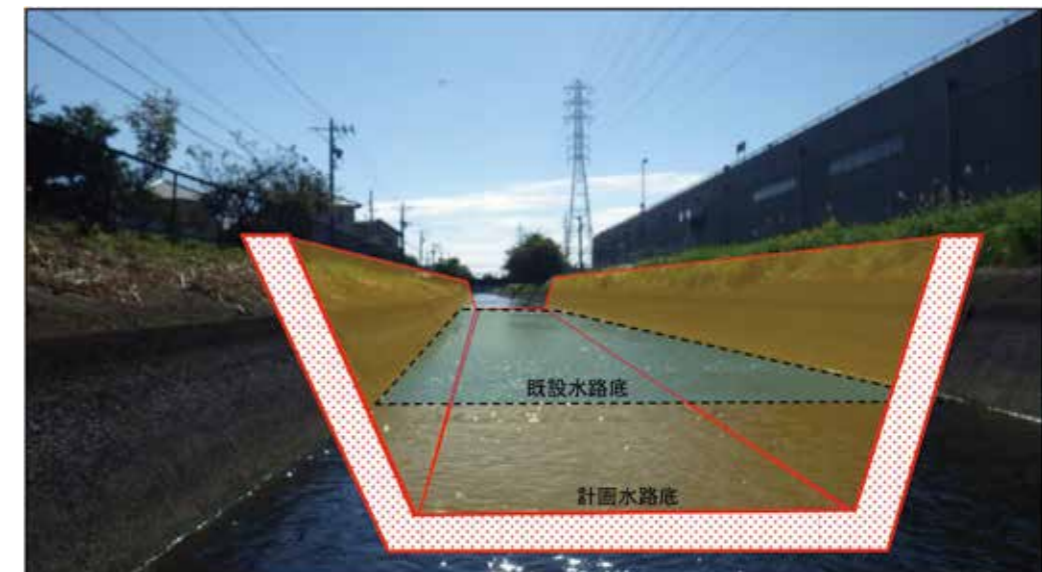
国営かんがい排水事業 濃尾用水第二期地区 昭和44年度～昭和62年度

国営造成土地改良施設整備 濃尾用水地区 昭和49年度～昭和54年度

● 今後の展望・課題

都市近郊農業地帯での災害防止や農業生産の安定に資するため、着実に事業を推進する。

■新木津用水路の機能回復対策（断面拡大）



天竜川ダム再編事業

■所在地

静岡県浜松市天竜区、
愛知県北設楽郡豊根村

■事業主体

国土交通省

■進捗状況

事業中

■完成目標・時期

2023年度予定

■事業費

約790億円

問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局 河川計画課
〒460-8514 愛知県名古屋市中区三の丸 2-5-1
TEL.052-953-8148

プロジェクトホームページ

http://www.cbr.mlit.go.jp/hamamatsu/gaiyo_dam/tenryu.html

●事業の背景・目的

①洪水調節容量の確保

既設の利水専用ダム（佐久間ダム）において、新たに洪水調節を可能とし、天竜川中下流部の洪水防御を図る。

②貯水池保全のため土砂恒久対策を実施

ダム貯水池に流入する土砂をダム下流へ流下させることにより、恒久的な貯水池の保全を行うとともに、ダムの恒久堆砂対策により、佐久間ダムから河川、海岸までの土砂移動の連続性を確保する。

●プロジェクトの特徴・効果

既設の利水専用ダム（佐久間ダム）に、新たに洪水調節機能を確保して、天竜川中下流の洪水被害の軽減を図る。また、洪水調節機能の維持を図るために恒久的な堆砂対策を実施することにより、ダム地点における土砂移動の連続性を確保して、海岸侵食の抑制等を目指す。

●計画の概要

利水容量（発電）買取り、貯水池掘削、放流設備改造、貯水池堆砂対策施設等の整備

●事業の経緯

2004年 「天竜川ダム再編事業」の実施計画調査が採択

2006～2007年 天竜川ダム再編事業「技術工法検討委員会（2008.1終了）」及び「環境検討委員会（H2008.3終了）」を実施

2009年 「天竜川ダム再編事業」建設着手

（2004年～ 静岡県は「遠州灘沿岸侵食対策検討委員会」を設立し、継続的に検討中）

安全・安心を拓く放水路の整備

沼川流域治水対策

問い合わせ先

静岡県 交通基盤部河川砂防局 河川企画課
〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-3035

プロジェクトホームページ

<https://www.pref.shizuoka.jp/kensetsu/ke-830/>

■所在地

静岡県沼津市

■事業主体

静岡県 交通基盤部河川砂防局 河川企画課

■進捗状況

事業実施中

■完成目標・時期

2032年度

■事業費

約250億円

●事業の経緯

- S49.7.7 沼川流域で床上浸水695戸、床下浸水1,369戸発生
- S51.8.9 沼川流域で床上浸水895戸、床下浸水2,871戸発生
- S55.4.1 中小河川改修事業（広域河川改修事業）に着手
- H1. 4.1 用地買収に着手
- H9. 4.1 工事に着手（暫定調節池）

●今後の展望・課題

放水路を整備するにあたり、JR東海道線や、(国)1号、海岸堤防の直下を横断する。このため、計画期間内での完成を目指すために、関係機関ときめ細やかな協議が必要。

●事業の背景・目的

沼川では、昭和49年、51年の2度にわたる大きな浸水被害を契機に、「沼川流域整備計画」を策定し、流域対策などを含む総合的な治水対策に取り組んできた。

引き続き、河川法に基づく法定計画である河川整備計画に位置付けた、沼川新放水路（仮称）の建設などの治水対策を推進する。

●プロジェクトの特徴・効果

平成10年から平成20年度までに床上浸水が12回発生するなど緊急的な河川整備が必要な沼川流域では、2032年度までに（仮称）沼川新放水路を新設することにより、10年に1回程度発生すると想定される規模の洪水による家屋浸水被害を概ね解消する。

●計画の概要

高橋川分流地点から河口までの約2.3km区間においては、 $Q = 150\text{m}^3/\text{s}$ の流量を安全に流すことを目的として、高橋川上流の洪水を直接海域へ放流する、新たな放水路を整備する。

●関連事業制度

100mm/h安心プラン（平成25年9月4日）

100mm/h安心プランとは、近年、時間雨量100mmを超えるような局地豪雨が全国的に頻発していることを踏まえ、河川と下水道整備に加え、住民や民間企業等の参画のもと、流出抑制対策や危険情報の周知体制の構築等により、浸水被害の軽減を図る計画として国が定めた制度。

「強く」「しなやか」な疏水を築く

国営総合農地防災事業 矢作川総合第二期地区

問い合わせ先

東海農政局 農村振興部防災課
〒460-8516 愛知県名古屋市中区三の丸 1-2-2
TEL.052-223-4640

プロジェクトホームページ

<http://www.maff.go.jp/tokai/seibi/kensetu/yaso2/index.html>
http://www.maff.go.jp/tokai/seibi/kensetu/yaso2/zigyo_gaiyo.html

● 事業の背景・目的

本事業は、明治用水頭首工や幹線用水路等、大規模地震に対して耐震性を有していない施設の耐震化対策を行い、大規模地震の発生による災害を未然に防止するとともに、農業用水の安定供給と農業生産の維持及び農業経営の安定を図るものである。

● プロジェクトの特徴・効果

平成14年4月に東海地震に係る地震防災対策強化地域、平成15年12月に東南海・南海地震防災対策推進地域に指定されるなど、大規模地震の発生する確率が極めて高い地域であり、大規模地震の発生により基幹的な農業水利施設が損壊した場合、農業生産、家屋や重要公共施設等への二次災害が想定され、地域に甚大な被害を及ぼす恐れがある。この大規模地震の発生による災害を未然に防止するために、頭首工や幹線用水路の改修を行う。

● 計画の概要

明治用水頭首工 改修工事 1式
岩倉取水工 改修工事 1式
用水路改修 L = 15.5km
北部地域 L = 2.9km
明治地域 L = 12.6km

■ 所在地

愛知県岡崎市、碧南市、刈谷市、豊田市、安城市、西尾市、知立市、高浜市

■ 事業主体

農林水産省東海農政局

■ 進捗状況

事業実施中

■ 完成目標・時期

2029年度

■ 事業費・事業規模

696億円(うち国営385億円)
5,441ha

● 事業の経緯

国営かんがい排水事業 明治用水地区 昭和22年度～昭和32年度
国営かんがい排水事業 矢作川総合地区 昭和45年度～昭和63年度
国営造成土地改良施設整備事業 明治用水地区 昭和53年度～昭和58年度

● 今後の展望・課題

地域の農業と経済を支える明治幹線水路、北部幹線水路及び豊田幹線水路の耐震対策を行うために、着実に事業を推進する。

■ 明治用水頭首工の耐震対策(鋼板巻立等)



設楽ダム建設事業

問い合わせ先

国土交通省中部地方整備局 河川計画課
〒460-8514 愛知県名古屋市中区三の丸 2-5-1
TEL.052-953-8148

プロジェクトホームページ

<http://www.cbr.mlit.go.jp/shitara/00home/sitemap.html>

所在地

愛知県北設楽郡設楽町

事業主体

国土交通省

進捗状況

事業中

完成目標・時期

2020年度（基本計画）

事業費

約2,070億円（基本計画）

● 事業の背景・目的

①洪水を調節

大量の雨が一度に豊川に流れ出さないよう洪水を調節する役割を持っており、基準地点である石田での計画流量7,100m³/sを1,000m³/s減らすことができる。この流量は河川の水位でいえば、最大で約1m水位を下げることになる。

②川の流れを保つ

雨が降った時に貯めておいた水を使って、10年に1度くらいの割合でおこる渇水時にも豊川に一定量の水を流すことができる。川に一定の水が流れることで、河川環境の保全と利用の調和を図ることができる。

③利用可能な水をつくる

貯水池の水を新たな水源として、東三河地域における水道用水と農業用水のあわせて約0.5m³/sの水量が新たに利用できる。

● 計画の概要

・重力式コンクリートダム

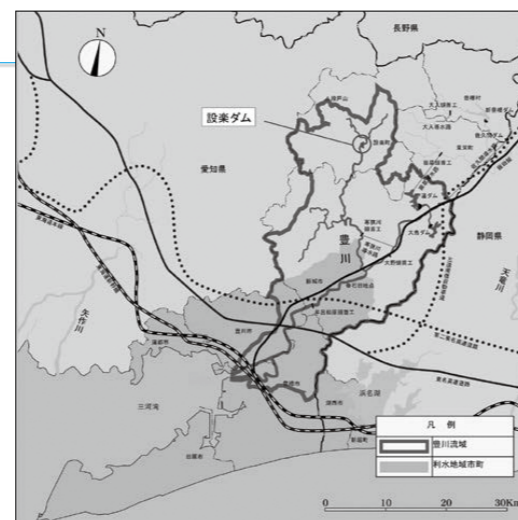
堤高 約129.0m（基本計画）

湛水面積 約3km²（基本計画）

総貯水容量 98,000千m³（基本計画）



■ 設楽ダム完成予想図



一級河川安永川 都市基盤河川改修事業

問い合わせ先

豊田市建設部河川課
〒471-8501 愛知県豊田市西町3丁目60番地
TEL.0565-34-6672

プロジェクトホームページ

<http://www.city.toyota.aichi.jp/shisei/soshiki/kenchiku/1004537.html>

■所在地

豊田市今町から豊田市下林町まで

■事業主体

豊田市 建設部

■進捗状況

改修延長 3.7km のうち、トンネル区間を含む下流側 2.3km は 2015 年度に完了した。

■完成目標・時期

2018 年度（平成 30 年度）

■事業費

258 億円

●事業の経緯

平成 14 年に都市基盤河川改修事業に採択され、平成 17 年より用地取得業務に着手した。トンネル区間は平成 20 年に本格着手し、平成 26 年度末に完成した。また、平成 22 年より平成 25 年にかけて矢作川との合流施設である樋門を施工した。

●今後の展望・課題

トンネル区間より上流部の現川拡幅部については用地取得を進め、用地取得後、順次工事に着手し平成 30 年度の事業完了を目指す。

●事業の背景・目的

豊田市の中心市街地は、なべ底状の水のたまりやすい地形となっていることから過去に度重なる浸水被害を受けてきた。そのため、中心市街地に降った雨を矢作川に流す一級河川安永川の改修が望まれていた。

●プロジェクトの特徴・効果

延長 2.1km のトンネル区間では市街地の住宅直下や大規模病院近傍を山岳トンネル工法（TBM 先行掘削＋拡幅 NATM）で施工した。

一級河川安永川および上流準用河川の整備が完了すると、中心市街地の浸水被害は概ね解消される。

●計画の概要

豊田市中心市街地の浸水被害軽減のため、一級河川安永川を改修する。

- ・改修延長 L = 3.7km（うちトンネル区間 L = 2.1km）
- ・河道拡幅と新設トンネル、新設樋門の整備

●関連事業制度

河川法 16 条の 3 都市基盤河川改修事業

伊賀の里 自然にやさしい ダムづくり

川上ダム建設事業

■所在地	三重県伊賀市
■事業主体	独立行政法人水資源機構
■進捗状況	事業実施中
■完成目標・時期	平成34年度完成予定
■事業費・事業規模	約1,180億円(事業実施計画第3回変更) 集水面積 54.7km ² 、湛水面積 1.04km ²

問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地
TEL 0595-52-1661

プロジェクトホームページ

<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami/>

● 事業の背景・目的

- ①洪水を調節：ダム地点の計画高水流量毎秒850立方メートルを、毎秒70立方メートルに調節して木津川沿川地域及び淀川下流地域の洪水被害を軽減する。
- ②流水の正常な機能の維持：前深瀬川及び木津川の既得用水の補給等流水の正常な機能の維持と増進を図る。また、木津川上流の既設ダム（高山ダム、青蓮寺ダム、布目ダム及び比奈知ダム）の堆砂除去のための代替補給を行う。
- ③水道水の供給：伊賀市の水道用水として最大毎秒0.358立方メートルの取水を可能にする。

● 計画の概要

型式 重力式コンクリートダム、堤高 84 m、堤頂長 334 m
集水面積 54.7km²、湛水面積 1.04km²、総貯水容量 31,000 千m³、

